



2022年2月9日

各 位

会 社 名 B A S E 株 式 会 社  
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 C E O 鶴 岡 裕 太  
 (コード番号:4477 東証マザーズ)  
 問 合 せ 先 取 締 役 上 級 執 行 役 員 C F O 原 田 健  
 TEL. 03-6441-2075

### 通期連結業績予想と実績との差異及び個別実績の前期実績との差異に関するお知らせ

2021年2月10日に公表いたしました2021年12月期通期の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、通期の個別実績につきましても、前期実績との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

#### 1. 通期連結業績予想との差異について

(1) 2021年12月期通期連結業績予想と実績との差異 (2021年1月1日～2021年12月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
前回発表予想 (A)	9,750 ～10,536	△1,433 ～△929	△1,433 ～△929	△1,437 ～△933	△13円10銭 ～△8円51銭
今回の実績値 (B)	9,931	△977	△960	△1,194	△10円80銭
増減額 (B-A)	181 ～△604	455 ～△48	472 ～△31	242 ～△261	—
増減率 (%)	1.9% ～△5.7%	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (2020年12月期)	8,288	803	747	584	5円64銭

(注) 2021年4月1日付で普通株式1株につき5株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

## (2) 差異の発生理由

当社の2021年12月期通期連結会計年度の実績値については、いずれも連結業績予想のレンジ内で着地しておりますが、営業損失及び経常損失の下限値と実績値の間に乖離があり、軽微基準（予想値と実績値との差異が0.7倍超1.3倍未満）に該当しないことから、開示を行っております。

売上高については、当初予想した業績予想のレンジ内での結果となりました。営業損失及び経常損失については、当初想定しておりましたプロモーションコストの投下及びプロダクト人員等の採用が計画を下回ったことにより、レンジの上限に近い結果となりました。一方で、親会社株主に帰属する当期純損失は、当社が保有する投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落した株式について減損処理を実施した影響により、最終的には当初予想した業績予想のレンジ内での結果となりました。

## 2. 前期個別実績との差異について

### (1) 2021年12月期通期個別実績と前期個別実績との差異（2021年1月1日～2021年12月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前期実績 (A)	7,321	942	887	380	3円67銭
当期実績 (B)	8,420	△879	△860	△1,147	△10円37銭
増減額 (B - A)	1,099	△1,821	△1,748	△1,528	—
増減率 (%)	15.0%	—	—	—	—

(注) 2021年4月1日付で普通株式1株につき5株とする株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

## (2) 差異の発生理由

売上高については、月間売店数の増加による流通総額の成長により、前事業年度と比較して増収となりました。営業利益及び経常利益については、プロモーションコストの投下及びプロダクト人員等の採用が当初計画を下回ったものの、積極的な先行投資の実施により、前事業年度と比較して減益となりました。当期純利益は、上記に加え、当社が保有する子会社株式及び投資有価証券のうち、実質価額が著しく下落した株式について減損処理を実施した影響により、前事業年度と比較して減益となりました。

以上